

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	集落復興再生小委員会	主 査 名：後藤隆太郎 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：三橋伸夫
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2014 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農山漁村等の集落地域におけるこれまでの復興再生過程を検証する。 ・ 農山漁村等の集落地域における集落再整備計画、住宅再建計画のあり方を議論する。 ・ 農山漁村等の集落地域における復興再生計画を支援する。 (2010 年度活動計画) 1：被災地等の復興再生過程、大規模公共事業に関わる集落再生等の検証と議論 2：資料編纂及び地域における計画支援等による成果活用等の展開	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 主査：後藤隆太郎 (佐賀大学) 計 14 名 幹事：岡田知子 (西日本工業大学) 委員：河野泰治 (久留米工業大学)、重村力 (神奈川大学)、石丸紀興 (広島国際大学)、山崎寿一 (神戸大学)、西村伸也 (新潟大学)、塩崎賢明 (神戸大学)、澤田雅浩 (長岡造形大学)、加藤仁美 (加藤仁美環境デザイン研究室)、浅井秀子 (鳥取短期大学)、寺澤秀忠 (匠拓)、山口尚之 (タステン アーキテクト)、鈴木孝男 (宮城大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2010 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/nouson/s0/

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. PD：安心して住み継げる故郷 (くに) づくり - 自然災害、大規模事業、地域衰退にどう取り組むか- 参加者数 35 名 『農村計画部門パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 福岡県西方沖地震復興計画地 (玄界島)、新潟中越地震復興集落等 (山古志、東山等)、能登復興集落等 (道下、黒島) の合同調査を実施し、一部成果を大会学術講演、九州支部報告等にて公表した。また、大会 PD を担当実施し、集落再生計画等の今後の論点整理を行った。2. 資料等編纂は構想段階であり、大会 PD 資料作成時に一部の計画実例やその事後評価等を収集し、取組みを継続する必要性を確認した。また、成果を活用するための復興計画支援等に関する研究会開催の必要性が確認され、さらに次年度には個別具体的計画支援について検討を行っている。
委員会活動の問題点・課題	他地域、多様な委員構成が当小委員会の一つの特徴であるが、経費や時間的制約のため全体として議論する機会が限られている。今後はメール会議等も取り入れ情報・意見交換を行い、活動成果へと結びつける必要がある。